



※上記のサイトは2025年5月上旬に公開予定です。

			
	Clear	Smart	
レベル	★★標準レベル 文法の確認と定着	★★★★標準～発展レベル アウトプットのための文法学習	
レッスン数	21レッスン	23レッスン	
各 レ ッ ス ン の 構 成	基本例文	▶ 6 基本例文 基本的な学習項目をカバー	▶ 7 基本例文 基本＋発展的な学習項目をカバー
	文法確認(CHECK)と 活動(TASK)の割合	文法確認(CHECK) 多め	活動(TASK) 多め
	Start-Up (モデル会話)	50～80語程度(平易な語い)	85～120語程度
	WRITE (Writing Goal)	3文から50語の自由英作文	40～60語の自由英作文
日本語訳	Start-Upのモデル会話, 基本例文, Vocabularyの日本語訳あり	日本語訳なし	
生徒用教材 pp.20-23	▶ Grammar Book(教科書応用例文) ▶ Essential Grammar Book (教科書例文一致) ▶ Workbook ▶ My English Portfolio	▶ Grammar Book(教科書応用例文) ▶ Workbook ▶ My English Portfolio	

令和8年度用 内容解説資料(ダイジェスト版)

株式会社いいずな書店

Tel. 03-5826-4370 Fax. 03-5812-7030
〒110-0016 東京都台東区台東1-32-8 Crobis 秋葉原4 F
<https://www.iizuna-shoten.com>

*QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
*本冊子の内容は2025年4月現在のものです。掲載されている仕様及び価格等は予告なしに変更することがあります。



令和8年度用 内容解説資料(ダイジェスト版)

English Logic and Expression ①
New Edition

be Smart

改訂版

令和8年度用
内容解説資料
(ダイジェスト版)

CONTENTS

特色① 文法と活動のバランスがとれたレッスン構成	
本書の構成・使い方	2-3
特色② 文法を自然にを使って発信できる場面・状況設定	
各レッスンの文法項目とトピックリスト	4-5
教科書紙面紹介	7-19
特色③ 文法学習&授業準備を充実サポート	
生徒用教材	20-23
教師用指導資料	24-29
デジタル教材	30-32

IIZUNA SHOTEN

論理・表現Ⅰ 教科書

改訂版

English Logic and Expression I New Edition

目標と学力に応じて選択が可能な3レベル



be Smart

文法の定着を図り
アウトプットにつなげる

★★★★ | 標準～発展

23
レッスン

対応
参考書



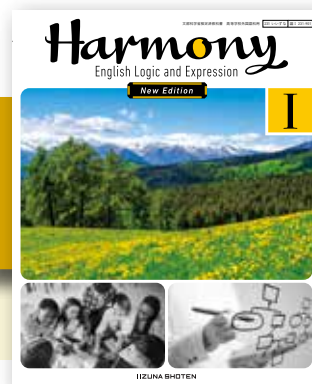
be Clear

文法の基礎を固めて
表現力を身につける

★★★ | 標準

21
レッスン

対応
参考書



Harmony

楽しく英語を使いながら
文法力を身につける

★ | 基礎～標準

18
レッスン

be Smart I

文法を軸に、無理なく
自然にアウトプットへ



3つの特色

特色
1

文法と活動の
バランスがとれた
レッスン構成

①導入(文法を含むモデル会話)→
②定着(文法解説・確認問題
CHECKと活動TASK)→③発展
(文法を使った自己発信活動)とい
う流れで、文法を軸にコンパクトな
活動を必要に応じて行うことがで
きる構成となっています。

》》pp.2-3

特色
2

文法を自然に
使って発信できる
場面・状況設定

各レッスンのトピックに合わせて、
モデル会話・文法確認・活動・語彙
がすべて統一されています。文法
項目を学習しながら、活動で使える
知識や技能が自然に身につくので、
無理なくアウトプットへとつなげる
ことができます。

》》pp.4-19

特色
3

文法学習&授業
準備のサポート、
充実度 No.1

教科書と完全リンクの準拠教材
Grammar Book・Workbookで、
文法の基礎固めをサポート。先生
の授業準備は、各レッスンの
PowerPointと充実のワークシート
(指導用データDVD-ROMに収録)
の活用で万全です。

》》pp.20-32



文法と活動のバランスがとれたレッスン構成

導入 定着 発展 の3ユニット構成。文法学習と理解の確認をしてから、自然な流れで、学んだことを試しに試してみることができます。各レッスンのGOALである、SHAREとWRITE(発展)の発信活動につなげます。

各レッスンの流れ 文法を軸とするシンプルな4ページ構成

レッスン内のモデル会話・文法確認・活動・語彙はすべてレッスンのトピックに合わせて統一されています。

導入 (1ページ目)

Start-Up >>> p.7, 11

文法を含むモデル会話

定着

(2-3ページ目)

発展 (4ページ目)

Interactions >>> pp.8-9, 12-13

基本例文・文法解説・
確認問題(CHECK)で
文法学習→活動(TASK)へ

Active Learning >>> p.10, 14

学んだ文法を使って自己発信活動

LESSON 1 Meeting People
自分のことを話す

Start-Up Andy and Kenta are talking in the classroom. They have just become friends.

Andy: What do you usually do after school, Kenta?
Kenta: Me? I'm in the soccer club, so I **play soccer every day except Monday**.
Andy: Really! You must be very busy! But you're free on Mondays and weekends, right?
Kenta: Actually, I go to cram school every Monday. On weekends, we sometimes have soccer games.
Andy: Wow! You don't have much free time.
Kenta: No, not much. When there's no game on the weekend, I like to hang out with my friends.

4-Listening TASK True or False? 1. T / F 2. T / F 3. T / F

Tips for Better Communication 相手の話の要点を聞き取り、関連する情報を1つ加えましょう。新しい情報が加わることで新たな興味や関心が生まれ、会話が続きやすくなります。

Forms 現在のことは現在形で表す
住んでいるところや持っているもの、入っている部活などの現在の状態や、日々の暮らしの中で繰り返していることを表すときは、**動詞の現在形**を使います。
動詞の現在形が表すのは「今」という一瞬の時点だけでなく、過去から現在、そして未来へと広がる時の範囲です。したがって、playのような動きを表す動詞の現在形は、繰り返すようなことを表します。I **play** soccer. だけで、「いつもサッカーをする」ことを表すことができます。

Expressions あいづちで関心を示す
あいづちを打つことで、相手の話に関心を持っていることを伝えることができます。Really!は、下がり口調なら「そうなんだ!」、Really?と上がり口調なら「そうなの?」というニュアンスになります。理解を示すときはI see.やI understand.を、いい話だと思えばThat's nice.を、よくない話ならThat's too bad.のような表現を使います。

Sounds /I/と/I/の発音
/I/は舌先を上唇にあてて発音し、/I/は舌先をどくもつけ舌全体をうしろに引いて発音します。
like, club, play, usually, actually, school / really, right, friend, free, cram, every, very, light / right, lead / read, glass / grass, collect / correct

Talk
会話の内容を確認し、AndyとKentaになりきって会話をしてみましょう!

Pick-Up 入っている部活動は、I'm in the soccer club.のように言えば簡単です。I belong to... (私は...に所属している)だと少し難しい表現になります。運動部なら、I'm on the tennis team.のように言うこともできます。

13

Interactions Talking about Yourself or People Close to You

A 現在のことを表す

① I **have** a cat and **love** him so much.
② I **usually get** to school at 8:30.
③ My mother **teaches** biology at a high school.

F-GUIDE 次のような場合は動詞の現在形を使う。
①「持っている」「住んでいる」という現在の状態や、「好きだ」という現在の心理的な状態を表すとき。
②「繰り返すこと」や習慣になっていることを表すとき。usuallyのような副詞を使うと頻度を表すことができる (always > usually > often > sometimes > rarely > never).
③職業や習性、話す言語などを表すとき (She speaks several languages.).

CHECK [] から選んだ動詞を適切な形にして空所を埋めよう。
1. My father () cars and () for a car company.
2. He () a car, but he rarely () it.
3. He usually () home at seven and () home before dinner.
4. He always () of us and () care of us.
[like / take / work / leave / think / come / have / drive]

TASK CHECKの文を参考にして、自分の家族や親戚、友人を紹介する文を書いてみよう。

B ペアになってBで自分が書いたことを話してみよう。話がかわったら、ペアの相手は内容に関する質問をしたり、B-GUIDEの表現を使ったりしながら会話を続けてみよう。相手が話したことに関連する質問 (Follow-up questions) もしてみよう。
A: What does your father do at work?
B: He designs cars.
A: Wow, that's great! What kind of cars does he design?
B: He designs...

E-GUIDE 相手の発言内容に対して感じたことをあいづちで表現しよう。
I see. - I understand. - I think so, too. - I can't believe it! - Really? - No way! - Yes, indeed.
That's nice/good/great/wonderful/fantastic! - That's too bad. - Is that true?
You're kidding! - Are you serious?

C これからの予定を表す

① My grandmother **is visiting** us tomorrow.
② My brother **graduates** from college this month.

F-GUIDE 現在進行形や現在形を使って、これらのことを表すことができる。
①これからしようとしている個人的な予定を表すときは現在進行形を使う (「いつ」のかわりに「いつか」を示す表現を入れる)。
②決定している予定を表すときは現在形を使う (The express train leaves at noon.).

TASK ①今日の放課後の予定か週末の予定。②学校の行事について書いてみよう。
③ I'm going to a concert with my sister this Sunday. I'm really looking forward to it.
④ The midterm exams start on May 20, so I'm preparing for them this weekend.

Vocabulary

relative	be good at	analyze data	do one's homework
childhood friend	graduate from	do club activities	watch videos online
work for (in)	come from	leave for school	play the guitar
resemble (look like)	ask one's advice	go to cram school	text friends

take a bath, have dinner, water the plants, get dressed, brush one's teeth, set one's hair, midterm exam, term/final exam

Self-Check (できることに✓を入れよう)
① 現在のことを表すことができる。□□□
② 途中でであることを表すことができる。□□□
③ これからの予定を表すことができる。□□□

14

Active Learning Introducing Yourself

7 → **SHARE** 自己紹介をしよう

①自己紹介をしている次の文を読もう。
I'm Honda Kenta. I graduated from Higashi Junior High School. I like soccer very much. I'm on the school soccer team and we practice every day. I think I'm outgoing. I hope I can make a lot of friends here.

②上の例を参考に、自己紹介の文を考え、メモにまとめよう。

Name	I'm _____.
Your junior high school	I graduated from _____.
Your favorite things / character	_____.
Your goals in high school	I hope _____.

③グループになって、順番に自己紹介をしよう。
Hello, everyone! I'm _____, Thank you for listening. Do you have any questions?で締めよう。
聞き手は質問を1つしよう。
What position do you play? / Do you like any other sports?

Self-Check ①自分のことについて伝えることができた。□□□
②相手の話したことに答える質問ができた。□□□
③よくできた。□□ □□ままだ。□□ □□あまりできなかった。

8 → **WRITE** いつもの行動を書こう

①いつもの朝の行動を述べた文を読んで、[] から適語を選び、空所を埋めよう。
I usually () up at 7:00 in the morning. After I wash my face and get dressed, I always () a traditional Japanese breakfast with my family. I () home at 8:00 and get to school by 8:30. [have / leave / get]

②自分の毎朝の行動 (morning routine) や帰宅後の行動 (evening routine) を、40語程度で書いてみよう。Logical Thinkingを参考にしよう。

Self-Check ①いつもの行動について、40語程度で表現できた。□□□
②時間の流れにそって、自分の行動を適切な動詞を使って書くことができた。□□□
③よくできた。□□ □□ままだ。□□ □□あまりできなかった。

Logical Thinking
「毎朝の行動」や「帰宅後の行動」など、いつもの行動を伝えるときは、時間の流れにそって話したり書いたりします。短い文が長くときは、接続詞 and を使って文をつなぐと不要な繰り返しを防げます。I wash my face and get dressed. では and のあとに I を入れる必要はありません。

15

1 Start-Up / Listening TASK

学習文法項目が会話の中でどのように使われるかを学習し、内容をリスニングで確認。

2 Forms / Expressions

文法を使って何が表現できるかを説明。やり取り等の活動で使える機能表現も紹介。

3 基本例文 / F-GUIDE (文法解説)

レッスンのトピックの内容に合った例文で文法を学習しながら、活動の基盤をつくる。文法解説が学習の助けとなる。

4 CHECK (文法確認問題)

学習文法項目を確認問題で確認して、理解度をチェック。

5 TASK (活動)

③や④で学んだことを実際に使って試してみるコンパクトな活動 (書く・発表・やり取り)。

6 Vocabulary

⑤の活動のヒントとなる語彙・表現集。

7 SHARE (Speaking Goal)

グループでやり取りをしながら考えをまとめ、発表する。

8 WRITE (Writing Goal)

レッスンのトピックについて、まとめの自由英作文を40-60語で書く。

GOAL

文法を自然にを使って発信できる 場面・状況設定

各課の例文や文法問題はすべてトピックの内容に関連。学習した文法を無理なく活動につなげられる
仕組みで、スムーズに授業を進めていただけます。

各レッスンの文法項目とトピックリスト

5つのZoneで身近なことから社会・文化的トピックへ展開

- 1st Zone >>> 自分のことや身近な人のことを話す
2nd Zone >>> 日々の生活について話す
3rd Zone >>> したいことやしていることを話す
4th Zone >>> 説明する・自分の考えを話す
5th Zone >>> 異なることやコミュニケーションについて話す

ZONE	LESSON	文法項目	トピック	タイトル	配当時間
	Introduction		5文型と品詞		1
1	1	現在形	自分のこと	Meeting People	2
	2	過去形	休日・週末にしたこと	Holidays and Weekends	2
	3	未来の表現	予定	Making Plans	2
	4	現在完了形	経験	Experiences	2
	5	過去完了形	学習・課外活動	Study and Activities	2
	Logical Writing①		叙述文を書いてみよう！(高校入学前の出来事)		0.5
	1st Zone まとめの活動		スピーチをしてみよう！(高校入学前の出来事)		0.5
2	6	助動詞①	食べ物	Food	2
	7	助動詞②	学校生活	School Life	2
	8	助動詞③	日常生活	Daily Life	2
	9	受動態	交通や建物	Transportation and Buildings	2
	Logical Writing②		意見文を書いてみよう！(学校に規則は必要か)		0.5
	2nd Zone まとめの活動		Logical Thinking 論理的に考える		0.5

1
学期

3	10	不定詞①	将来したいこと	The Future	2	
	11	不定詞②	健康	Staying Healthy	2	
	12	不定詞③	便利な製品	Convenient Products	2	
	13	動名詞	趣味・興味	Hobbies and Interests	2	
	14	分詞①	自然	The World of Nature	2	
	15	分詞②	トラブル・事故	Trouble and Accidents	2	
	Logical Writing③		説明文を書いてみよう！(絶滅危惧種の動物)		0.5	
	3rd Zone まとめの活動		プレゼンテーションをしてみよう！ (絶滅危惧種の動物)		0.5	
4	16	関係代名詞①	発明・進歩	Inventions and Breakthroughs	2	
	17	関係代名詞②	社会活動	Community Service	2	
	18	関係副詞	行事・慣習	Events and Customs	2	
	19	比較①	生活環境	Living Environment	2	
	20	比較②	社会問題	Social Problems	2	
	Logical Writing④		問題解決文を書いてみよう(日本の労働者不足)		0.5	
	4th Zone まとめの活動		ディスカッションをしてみよう！ (都会の暮らしと地方の暮らし)		1	
5	21	仮定法	願い事	Making a Wish	2	
	22	接続詞	異文化を理解する	Cross-cultural Communication	2	
	23	that節	ことばとコミュニケーション	Languages and Communication	2	
	Logical Writing⑤		説得文を書いてみよう！(英語の世界公用語化)		0.5	
	5th Zone まとめの活動		ディベートをしてみよう！(英語の世界公用語化)		2	
					計	54

2
学期

3
学期

授業展開例

文法主軸／活動主軸、または文法と活動を組み合わせるなど、多様な授業展開が可能です。

教科書紙面紹介

LESSON 1 Start-Up(導入)

ターゲットの文法項目が実際にどのように使われるのか、モデル会話で確認できます。

授業2コマ／1レッスンのペースを想定した場合

	文法&活動 バランス型	文法主軸	活動主軸	
導入 (1ページ目) モデル会話	モデル会話を聞く ↓ ロールプレイ ↓ 会話の内容を確認 ▶教科書 Listening TASK ↓ 発音解説	モデル会話を聞く ↓ 会話の内容を確認 ▶教科書 Listening TASK	モデル会話を聞く ↓ ロールプレイ ↓ 会話の内容を確認 ▶教科書 Listening TASK ↓ 発音解説	1コマ目
定着 (2-3ページ目) 文法解説 例文, F-GUIDE 確認問題 CHECK 言語活動 TASK	基本例文確認 ↓ 文法解説 ↓ 文法演習 ▶教科書 CHECK ↓ 言語活動 ▶教科書 TASK ↓ 【宿題】 ▶ Grammar Book ▶ Workbook 授業では、教科書のみでコンパクトに文法解説・演習を行い、宿題の準拠教材で補強する	基本例文確認 ↓ 文法解説 ▶ 文法参考書 ▶ Grammar Book ▶ 補助プリント ↓ 文法演習 ▶ 教科書 CHECK ▶ Grammar Book ▶ 補助プリント ↓ 余裕があれば活動 ▶ 教科書 A TASK 活動はメインのAのみ ↓ 【宿題】 ▶ Grammar Book ▶ Workbook	基本例文確認 ↓ 文法演習 ▶ 教科書 CHECK ↓ 言語活動 ▶ 教科書 TASK ↓ 【宿題】 ▶ Grammar Book ▶ Workbook 文法解説・演習は準拠教材に任せ、言語活動に時間を割く	2コマ目
発展 (4ページ目) 話す活動 SHARE 書く活動 WRITE	話す活動を行う ▶ 教科書 SHARE ①モデル英文の確認 ②自己発信の文作成 ↓ 書く活動を行う ▶ 教科書 WRITE	話す活動を行う ▶ 教科書 SHARE ①モデル英文の確認 ②ロールプレイ ↓ 書く活動を行う ▶ 教科書 WRITE パラグラフライティング	話す活動を行う ▶ 教科書 SHARE ①モデル英文の確認 ②自己発信の文作成 ③グループで共有 ↓ 書く活動を行う ▶ 教科書 WRITE パラグラフライティング	

LESSON 1

Meeting People

自分のことを話す

Start-Up Andy and Kenta are talking in the classroom. They have just become friends.

Andy: What do you usually do after school, Kenta?
Kenta: Me? I'm in the soccer club, so **I play soccer every day except Monday.**
Andy: **Really!** You must be very busy! But you're free on Mondays and weekends, right?
Kenta: Actually, I go to cram school every Monday. On weekends, we sometimes have soccer games.
Andy: Wow! You don't have much free time.
Kenta: No, not much. When there's no game on the weekend, I like to hang out with my friends. ・hang out with: へと遊ぶ

Listening-TASK True or False? 1. T / F 2. T / F 3. T / F

Tips for Better Communication 相手からの問いかけに答えたら、関連する情報を1つ加えましょう。新しい情報が加わることで新たな興味や関心が生まれ、会話が続きます。

Forms 現在のことは現在形で表す
住んでいるところや持っているもの、入っている部活のような現在の状態や、日々の暮らしの中で繰り返していることを表すときは、**動詞の現在形**を使います。
動詞の現在形が表すのは「今」という時点だけでなく、過去から現在、そして未来へと広がる時の範囲です。したがって、playのような動きを表す動詞の現在形は、繰り返するようなことを表します。I **play** soccer.だけで、「いつもサッカーをする」ことを表すことができます。

Expressions あいづちで関心を示す
あいづちを打つことで、相手の話に関心をもっていることを伝えることができます。**Really!**は、下がり口調なら「そうなんだ!」、**Really?**と上がり口調なら「そうなの?」というニュアンスになります。理解を示すときはI see.やI understand.を、いい話だと思えばThat's nice.を、よくない話ならThat's too bad.のような表現を使います。

Sounds /l/と/r/の発音
/l/は舌先を上歯茎にあてて発音し、/r/は舌先をどこにもつせず舌全体をうしろに引いて発音します。
like, club, play, usually, actually, school / really, right, friend, free, cram, every, very
light / right, lead / read, glass / grass, collect / correct

Talk
会話の内容を確認し、AndyとKentaになりきって会話をしてみよう!

Pick-Up 入っている部活動は、I'm in the soccer club.のように言えば簡単です。I belong to (私は...に所属している)だと少ししたい表現になります。運動部なら、I'm on the tennis team.のように言うこともできます。

各レッスンでトピックを設定

- モデル会話
- 基本例文
- 文法確認
- 活動
- 語彙

↑
トピックで統一

リスニング問題例

True or False?

- Kenta plays soccer on Tuesdays.
- Kenta doesn't go to cram school.
- Kenta likes to spend time with his friends when he isn't too busy.

授業の流れ

- Start-Upで文法が使われる状況・場面を確認。
- Listening-Taskで会話の内容確認。
- FormsやExpressionsで、文法や表現への理解を深める。

文法と活動をバランスよく授業で扱うことができる構成です。文法学習→確認(CHECK)が終わったら、「学んだことをその場で使ってみる」活動(TASK)を通して文法の定着を図ります。

Interactions Talking about Yourself or People Close to You

A 現在のことを表す

現在形

- 1 → ① I **have** a cat and **love** him so much.
 ② I **usually get** to school at 8:30.
 ③ My mother **teaches** biology at a high school.

2 → F-GUIDE 次のような場合は動詞の現在形を使う。

- ① 「持っている」「住んでいる」のような現在の状態や、「好きだ」のような現在の心理的な状態を表すとき。
 ② 繰り返すことや習慣になっていることを表すとき。usuallyのような副詞を使うと頻度を表すことができる(always > usually > often > sometimes > rarely > never)。
 ③ 職業や習性、話す言語などを表すとき(She speaks several languages.)。

3 → CHECK [] から選んだ動詞を適切な形にして空所を埋めよう。

1. My father () cars and () for a car company.
 2. He () a car, but he rarely () it.
 3. He usually () home at seven and () home before dinner.
 4. He always () of us and () care of us.

[like / take / work / leave / think / come / have / drive]

4 → TASK1 CHECK の文を参考にして、自分の家族や親戚、友人を紹介する文を書いてみよう。

CHECKが
TASKの解答例

TASK2 ペアになって TASK1 で自分が書いたことを話してみよう。話が終わったら、ペアの相手は内容に関する質問をしたり、E-GUIDE の表現を使ったりしながら会話を続けてみよう。相手が話したことに関連する質問 (Follow-up questions) もしてみよう。

例 A: What does your father do at work?

B: He designs cars.

A: Wow, that's great! What kind of cars does he design?

B: He designs ...

E-GUIDE 相手の発言内容に対して感じたことをあいづちで表現しよう。

・ I see. ・ I understand. ・ I think so, too. ・ I can't believe it! ・ Really? ・ No way! ・ Yes, indeed.
 ・ That's nice [good/great/wonderful/fantastic]. ・ That's too bad. ・ Is that true?
 ・ You're kidding! ・ Are you serious?

音声聞いて、その応答としてふさわしいものをABCから1つ選ぼう。

Vocabulary

・ relative
 ・ childhood friend
 ・ work for [in]
 ・ resemble [look like]

・ be good at
 ・ graduate from
 ・ come from
 ・ ask one's advice

・ analyze data
 ・ do club activities
 ・ leave for school
 ・ go to cram school

・ do one's homework
 ・ watch videos online
 ・ play the guitar
 ・ text friends

B 途中であることを表す

現在進行形

- ④ I'm **writing** an essay for my English class.
 ⑤ I think my cat **is getting** fat.

F-GUIDE 次のような場合は現在進行形 (am/are/is + 動詞の ing 形) を使う。

- ④ 現在している最中のことを表すとき。
 ⑤ 変化している途中のことや、現在の一時的な状態 (She's living in New York.) を表すとき。

TASK 写真の状況に合うように空所を埋めてから、続きを考えて書いてみよう。



The man and woman on the right side of the picture are () with each other. They are probably () a break. The man is () a cup of coffee. The man with gray hair is the office manager, and he is () to the woman. She is ...

C これからの予定を表す

現在進行形・現在形：予定

- ⑥ My grandmother **is visiting** us tomorrow.
 ⑦ My brother **graduates** from college this month.

F-GUIDE 現在進行形や現在形を使って、これからのことを表すことがある。

- ④ これからしようとしている個人的な予定を表すときに現在進行形を使う(「いつするのか」を示す表現を入れる)。
 ⑦ 確定している予定を表すときは現在形を使う(The express train leaves at noon.)。

TASK ① 今日の放課後の予定か週末の予定、② 学校の行事について書いてみよう。

- ① I'm going to a concert with my sister this Sunday. I'm really looking forward to it.
 ② The midterm exams start on May 20, so I'm preparing for them this weekend.

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- ☐ A 現在のことを表すことができる。
☐ B 途中であることを表すことができる。
☐ C これからの予定を表すことができる。

Input

文法の確認

- ① 7つの基本例文
 ② 簡潔な文法解説 (F-GUIDE)
 ③ 文法確認(CHECK)

Output

文法の定着

④ コンパクトな活動 (TASK) で「学んだらすぐに使ってみる」

文法を自然に使える場面・状況設定

TASKをサポート

多種多様なワークシートで文法学習 (Input) も活動 (Output) も徹底サポート >>> pp.26-27

活動(TASK)のアイコン

アイコンを大きく見やすく配置。TASKでどの活動ができるか一目瞭然。

- やり取り 発表
 書く 協同学習

LESSON 1

Active Learning(発展)

SHAREとWRITEで、
各レッスンの総仕上げ
をすることができます。

SpeakingのGoal

解答例が提示され 取り組みやすい

①で例を提示することで、無理なく少しハードルの高い活動に取り組める。①の例では各レッスンの学習文法項目を使用。

Active Learning

Introducing Yourself

SHARE 自己紹介をしよう

①自己紹介をしている次の文を読もう。

I'm Honda Kenta. I graduated from Higashi Junior High School. I like soccer very much. I'm on the school soccer team and we practice every day. I think I'm outgoing. I hope I can make a lot of friends here.

②上の例を参考に、自己紹介の文を考え、メモにまとめよう。

Name	I'm _____.
Your junior high school	I graduated from _____.
Your favorite things / character	
Your goals in high school	I hope _____.

③グループになって、順番に自己紹介をしよう。

- ・Hello, everyone! で始め、Thank you for listening. Do you have any questions? で締めよう。
 - ・聞き手は質問を1つしよう。
- 例 What position do you play? / Do you like any other sports?

Self-Check

自分のことについて伝えることができた。③②①
相手が話したことに関する質問ができた。③②①
③: よくできた。②: まあまあできた。①: あまりできなかった。

WritingのGoal

ステップを踏んで 取り組める

①の空所補充問題で文法事項を確認しながら、②で自由英作文を書く内容のヒントにも。

WRITE いつもの行動を書こう

①いつもの朝の行動を述べた文を読んで、[]から適語を選び、空所を埋めよう。

I usually () up at 7:00 in the morning. After I wash my face and get dressed, I always () a traditional Japanese breakfast with my family. I () home at 8:00 and get to school by 8:30. [have / leave / get]

②自分の毎朝の行動(morning routine)や帰宅後の行動(evening routine)を、40語程度で書いてみよう。Logical Thinkingを参考にしよう。

Self-Check

いつもの行動について、40語程度で表現できた。③②①
時間の流れにそって、自分の行動を適切な動詞を使って書くことができた。③②①
③: よくできた。②: まあまあできた。①: あまりできなかった。

Logical Thinking

「毎朝の行動」や「帰宅後の行動」など、いつもの行動を伝えるときは、時間の流れにそって話したり書いたりします。短い文が続くときは、接続詞andを使って文をつなぐと不要な繰り返し省けます。I wash my face and get dressed. ではandのあとにIを入れる必要はありません。

充実のワークシートで
サポート >>> p.27

LESSON 16

Start-Up(導入)

LESSON

16

Inventions and Breakthroughs

発明・進歩について考える



QR
音声

Start-Up Mr. Jones is talking with Hiroki, a member of the science club, about black holes.

Jones: Did you know that we can now take pictures of black holes?

Hiroki: Yes. I read about the scientists who took the pictures. It was a great achievement.

Jones: That's right. To make their observations, they used eight synchronized telescopes located in several different places around the world.

Hiroki: It was truly an international effort.

Jones: Yeah! What did you think when you first saw the pictures?

Hiroki: Well, I was very impressed. I couldn't wait to see more pictures.

Listening-TASK 1. T / F 2. T / F 3. T / F

Tips for Better Communication

I read about the scientists who took the pictures.のように事実を述べたあとに、It was a great achievement.のような感想を続けることで会話が発展します。

Forms 関係代名詞を使って名詞に説明を加える

「写真を撮影した科学者たち」と言いたいとき、英語ではthe scientistsという名詞を先に出してから、who took the picturesという説明を関係代名詞を使って加えます。
the scientists ← who [どういう人か説明を加える] + took the pictures (写真を撮影した) という説明の流れです。

「科学者たち」に「私が尊敬する」という説明を加える場合は、the scientists whom I admireのように関係代名詞に(主語+動詞)を続けます。この場合の関係代名詞は省略することができます。

Expressions 感想をたずねる

相手に感想をたずねるときは、What do you think of [about] ...? または How do you feel about ...? という表現を使います。日本語では「どう思う?」と言いますが、thinkを使うときは疑問詞はhowではなくwhatを使います。How was ...? で「...はどうだった?」と感想をたずねることもあります。

Sounds /æ/ の発音

blackやinternationalの「ア」は/æ/の音で、日本語の「エ」の音を出すときのように唇を横に広げた状態で、できるだけ口を開いて「ア」と発音します。

action, angry, apple, that, black, fact, glad, plan, map, international

Talk

会話の内容を確認し、Mr. JonesとHirokiになりきって会話をしてみよう!

Pick-Up

「読む」という意味の動詞readは、「本などを読む」と言う場合は他動詞として使います(例 read a book)が、読んだ内容について「～のことを読んで知る」と言う場合は、readのあとにaboutやofが必要です。

例 I read about the event in the newspaper. (私はその事件(の内容)について新聞で読んで知った)

TT How many cans can a canner can if a canner can can cans?

99

QRコード

- Start-Up
- Sounds
- 基本例文
- TASK
- E-GUIDE
- Vocabulary

QRコードからのアクセスで、簡単に音声やフラッシュカードで学習できる。

>>> p.32

学習事項を色分けで表示

Interactions Talking about Inventions and Breakthroughs

A 名詞に〈関係代名詞+動詞〉を続けて説明を加える

主格：主語のはたらき

- ① The person **who** discovered X-rays was a German scientist.
 ② They're creating robots **that** will help people with disabilities.

F-GUIDE 名詞に説明を加える節の中で、関係代名詞は主語のはたらきをする。

- ① 人を表す名詞に説明を加えるときは関係代名詞 **who** を使い、その人が何をするのか・したのかを説明する。
 ② 人以外を表す名詞に説明を加える場合は、関係代名詞 **that** か **which** を使う (robots which will help people ...)。
 ③ 「その〜は」と説明を加えるときは、所有格の関係代名詞 **whose** を使う (I have a smartphone whose screen can be folded.)。

CHECK 空所に当てはまる内容を a～d から選び、適切な関係代名詞を補って英文を完成させよう。

1. Marie Curie was a Polish scientist _____.
 2. Ando Momofuku was an inventor and businessperson _____.
 3. Steve Jobs created a useful device _____.
 4. Katalin Karikó contributed to the development of a technology _____.
 a. was used for COVID-19 vaccines b. was famous for her research on radioactivity
 c. has changed our way of communication d. created instant noodles

TASK 1 ペアになって、発明や偉業を成し遂げた人物をふたり選び、それぞれひとりずつについて調べて英語で書いてみよう。**TASK 2** **TASK 1** で書いたことを、ペアでそれぞれ発表しよう。発表が終わったらペアの相手に、**E-GUIDE** の表現を使って感想を聞いて、会話を続けてみよう。

- A:** I wrote about Steve Jobs. He created cool and innovative products that have enriched our daily lives. Also, he was known for his creative ideas and great leadership. What do you think of him?
B: I think he is a person who inspired people around him to do big things.
A: Yeah. Many people admire his passion for design and simplicity. Jobs left a lasting legacy in the world of technology and design.
B: I agree with you.

E-GUIDE 相手に感想をたずね、会話を続けよう。

- ・What do you think of/about? ...? ・How did you feel about ...? ・What was your impression of ...?
 ・How was ...? ・How did you like it? ・Were you impressed?

音声 聞いて、その応答としてふさわしいものを ABC から 1 つ選ばう。

Vocabulary

- | | | | | | |
|----------------|----------------|---------------|------------------|----------------------|-------------------------|
| ・contribute to | ・prove | ・cutting-edge | ・revolution | ・scientist | ・safe drinking-water |
| ・introduce | ・set a record | ・creative | ・discovery | ・inventor | ・poor sanitation |
| ・inspire | ・impress | ・imaginative | ・trial and error | ・researcher | ・play an essential role |
| ・invent | ・revolutionize | ・innovative | ・chemist | ・win the Nobel Prize | ・replace ~ with |

B 名詞に〈関係代名詞+主語+動詞〉を続けて説明を加える

目的格：目的語のはたらき

- ③ The world record **that** he set in 2016 has not been broken yet.
 ④ Tell me about the person **whom** you admire the most.
 ⑤ The products **she invented** have helped many people around the world.

F-GUIDE 名詞に説明を加える節の中で、関係代名詞は目的語のはたらきをする。

- ③ それをどうするのか・どうしたのかを説明するときは、関係代名詞 **that** か **which** を使う。
 ④ 人についての説明を加える場合は目的格 **whom** を使う。ただし、whom の代わりに who を使うことが多い。
 ⑤ 目的格の関係代名詞を使わず、名詞に直接〈主語+動詞〉を続けて説明を加えることも多い。

**TASK** 防災井戸 (a well pump) について書かれた英文を読んで、空所を埋めよう。また、現在、世界で井戸がどのように使われているか調べて、続きを書いてみよう。

This is a well pump () we can use in times of disaster in Japan. When the water supply is broken, we can use this well pump to get clean water. There are many people () we can help with a well pump in the world. ...

C 説明を加える関係代名詞節で前置詞を使う

前置詞の目的語のはたらき

- ⑥ This is the new vaccine **that** we have been waiting **for**.
 ⑦ The project **on which** they have worked for years will be completed.

F-GUIDE 名詞に説明を加える節の中で、関係代名詞は前置詞の目的語のはたらきをする。

- ⑥ 関係代名詞は前置詞 **for** の目的語のはたらきをしている (we have been waiting for the new vaccine)。関係代名詞を使わずに the new vaccine we have been waiting for とすることもできる。
 ⑦ 前置詞を関係代名詞の前に入れることもできる (on that は不可)。人を表す名詞の場合は the person for whom we have been waiting のようになる。

**TASK** 電気自動車についてのスピーチを読んで、空所を埋めよう。また、革新的な技術や発明を 1 つ選び、それを紹介するスピーチを書いてみよう。

[HINTS: drones, lithium-ion batteries, iPS cells, 3D printers, AI, instant noodles]
 The technology _____ I would like to talk is electric vehicles. Instead of gasoline, the vehicles need electricity to power them. They use the batteries _____ the electricity is stored in. Electric vehicles can help reduce CO₂ emissions.

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- ☐ A 〈関係代名詞+動詞〉で名詞に説明を加えられる。
☐ B 〈関係代名詞+主語+動詞〉で名詞に説明を加えられる。
☐ C 関係代名詞と前置詞を使って名詞に説明を加えられる。

音声アイコン

TASK の空所補充問題に音声をご用意。リスニング問題としても活用できる。

TASKの
空所補充問題

- 空所補充問題で文法事項を確認。
- 学習文法項目を使うことが自然な、場面や状況の英文が書くヒントに。

LESSON 16

Active Learning(発展)

各Zoneの構成

本課で学習したこと、活動した内容が、Zone末のまとめの活動で活用できる構成になっています。

Active Learning

Technology and Invention

SHARE 発明品について話そう

① 発明品に関する次の文を読もう。

Dynamite was the most famous thing that Alfred Nobel invented. However, the power of dynamite was not used only for constructive purposes but also in wars. Nobel became very rich thanks to the invention of dynamite, but he was unhappy that his invention was being used as a weapon. In his will, he provided money for the Nobel Prize awards.

② 上の例を参考に、発明品について自由に調べて、紹介したい内容をメモにまとめよう。

発明品の具体的な情報に加えて、その発明の利点や問題点も入れよう。

Invention:

Description

Benefits / Problems

③ グループになって、順番に発表しよう。

Self-Check ✓

発明品について具体的に伝えることができた。③②①
発明品の利点や問題点について伝えることができた。③②①

WRITE 発明品を自由に考えよう

① ある生徒が考えた発明品について述べた文を読んで、空所を埋めよう。

I've developed an innovative application, "Animal Translator." This is an app () enables you to understand animal languages. Choose the animal () you want to communicate with and record its voice, and then press the app's start button. Then, the message () the animal is trying to say will be shown in human language on the screen! It's both fun and practical!

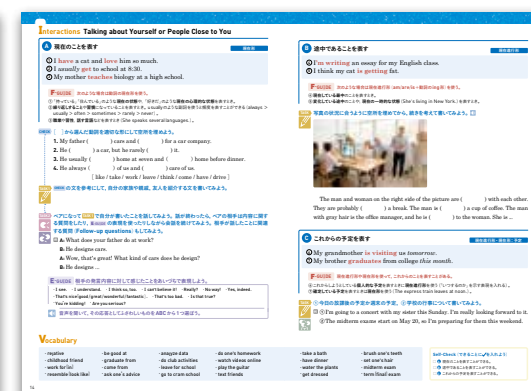
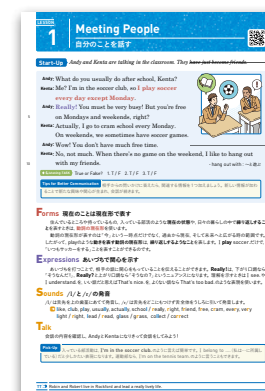
② 発明品を自由に考えて、その発明品で何ができるかを60語程度で説明してみよう。

与えられたトピックにどう取り組むかを、具体的にアドバイス。

Logical Thinking

技術や発明などを紹介するときは、まず紹介する技術や発明の概要を簡単に述べます。そして、その技術や発明がどのようなことを可能にするのかを説明します。具体的な状況など、活用例を加えてもよいでしょう。最後に、その発明が私たちの生活にどのような影響を与えるかを述べると、聞き手の関心を高めることができます。

102



本課を学習

Zone末の活動へ

各Zone末に、**Logical Writing**(書く活動)とまとめの活動(やり取り・話す活動)をセットで配置。各レッスンのトピックと関連しているので、本課でのコンパクトな活動からハードルの高い活動へ、スムーズに移行できます。

1st Zone	Logical Writing①	叙述文を書いてみよう！(高校入学前の出来事)
	1st Zone まとめ活動	スピーチをしてみよう！(高校入学前の出来事)
2nd Zone	Logical Writing②	意見文を書いてみよう！(学校に規則は必要か)
	2nd Zone まとめ活動	Logical Thinking 論理的に考える
3rd Zone	Logical Writing③	説明文を書いてみよう！(絶滅危惧種の動物)
	3rd Zone まとめ活動	プレゼンテーションをしてみよう！(絶滅危惧種の動物)
4th Zone	Logical Writing④	問題解決文を書いてみよう！(日本の労働者不足)
	4th Zone まとめ活動	ディスカッションをしてみよう！(都会の暮らしと地方の暮らし)
5th Zone	Logical Writing⑤	説得文を書いてみよう！(英語の世界公用語化)
	5th Zone まとめ活動	ディベートをしてみよう！(英語の世界公用語化)

1st Zone

Logical Writing (Zone 末活動①)

論理的な文章のスタイル(叙述文・意見文・説明文・問題解決文・説得文)を、ステップを踏んで学習することができます。

Zone内の各活動がトピックと連動

本課の学習や活動が生かせる。

本課内のTASK

Zone末活動①

Logical WritingのTASK

Zone末活動②

スピーチのTASK

》》pp.18-19

Zone内でTASKのトピックが連動。

Logical Writing ①

叙述文を書いてみよう！

叙述文とは

自分が体験した出来事などについて、順を追って述べる文章が叙述文です。休日にしたこと、旅行で体験したこと、部活動で経験したことなど、思い出に残っていることを文章にします。

1st Zoneでは、自分のことを述べたり、楽しかった出来事について述べたり、休日のことや旅行のこと、学習や課外活動について述べたりする活動をしてきました。このLogical Writing ①では、1st Zoneのライティング活動のまとめとして、100～130語の叙述文(a narrative paragraph)を書いてみることにします。

TASK 思い出に残っている高校入学前の出来事について、100～130語のパラグラフを書こう。

叙述文の書き方

叙述文では、出来事を時間軸にそって順を追って述べていきます。まず、導入としてどんな出来事なのかを示してから出来事の内容を具体的に述べ、最後に感想などでまとめる、というのが叙述文の一般的なスタイルです。

- 導入** どんな出来事について述べるのかを示す(いつ、どこで、だれが、何をしたのか)
- 内容** 出来事の内容を時間軸にそって具体的に述べる
- 感想** 出来事に関する感想や学んだことなどを述べる

まず、次のパラグラフを読んでみましょう。

My First Day in Seattle

When I first went abroad, I was fourteen years old. I wanted to improve my English, so I decided to take part in an exchange program. About twenty students spent two weeks of their summer vacation living with families in Seattle. The journey took about fourteen hours. When we arrived at the school, we were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for us. It was fun. We did our best to introduce ourselves to our host families. Then, after a couple of hours, we went to our new homes. I felt a little nervous. Fortunately, my host family was very kind, and I was able to spend a comfortable time with them. It was an unforgettable experience for me.

(128 words)

叙述文で大切なこと

叙述文では出来事を時間軸にそって書くことが求められますから、出来事の順番が前後しないようにしなければなりません。また、読む人の興味を引くような内容にすることも大切です。

形式を確認

叙述文に限らず、英語のパラグラフを書くときには形式に気を配る必要があります。以下のチェックポイントを毎回確認するようにしましょう。

- パラグラフの始めの字下げ(インデント)はできているか。パラグラフ内の文は改行せず連続して書かれているか。
- 大文字小文字や、コンマ・ピリオドなどのパンクチュエーション(句読法)は適切に使われているか。
- 内容を適切に表すタイトルがつけられているか。タイトルは中央に書かれているか。

叙述文で使う表現

叙述文では、時間の前後関係を表す次のような表現を使って、出来事の流れがわかりやすくなるようにします。

first, second, after that, then, later, next
when, while, before, after, as soon as

また、いつのことを述べているのかを示す動詞の形には十分注意しましょう。過去のことは過去形、過去のある時点よりも前のことはwe were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for usのように過去完了形を使います。

では、次のステップに従って、**TASK** で示されたトピックについて叙述文を書いていきましょう。

STEP 1 何について書くか考える

まず、どの出来事について書くのかを考えます。いくつか思い出に残っている出来事をリストアップします。

STEP 2 アウトライン(あらすじ)を書く

読み手の興味を引くことができそうな出来事を選んで、「エッセイ」をつくります。ここではまだメモ程度でかまいません。

STEP 3 パラグラフを書く

アウトラインができたら文章にしていきます。書き終えたら読み直します。

STEP 4 リバイズ(修正)する

パラグラフを書き終えたら、ペアの相手かグループのほかのメンバーと、チェックリストを使ってお互いに気づいたことを伝え合い、書き直します。

ライティングチェックリスト

- ☒ **形式**: タイトル、インデント、パンクチュエーションなど形式は正しいか
- ☒ **構成**: 時間軸にそって出来事が書かれているか
- ☒ **内容**: 出来事の内容が伝わるように書かれているか
- ☒ **文法**: 時制(動詞の形)は適切か
- ☒ **表現**: 時間の前後関係を示す表現が適切に使われているか

TASKに無理なく取り組めるワークシートをご用意

まとまった文章を書くのが苦手な生徒も取り組みやすい、ステップを踏んでTASKに取り組めるワークシートを指導用データDVD-ROMに収録。》》p.25

Logical Writing ワークシート

TASK2

思い出に残っている高校入学後の出来事について、1分間でスピーチをしよう。

1. 出来事に関して、メモにまとめよう。

When?	
Where?	
With whom?	
What did you do?	
How did you feel?	
Why is it important?	

2. 110語～140語の原稿を書きましょう。

()

スピーチをしてみよう! (Zone末活動②)

本課で学んだことや活動した内容, Logical Writing (pp.16-17) で書いたことを生かして, Zone 末のまとめの活動として, スピーチ, プレゼンテーション, ディスカッション, ディベートを行います。

Speech



スピーチをしてみよう!

スピーチとは

集まっている人の前で自分のことを話したり, あるテーマについての自分の考えを述べたりするのがスピーチです。用意した原稿を「読む」のではなく, 聞いている人の目を見ながら(アイコンタクト)語りかけるようにすることが大切です。また, 声の大きさや話す速さ, メリハリにも気をつけて, 聞き手の心をつかむようにしましょう。ときには表情や手振りで感情や意思などを表すことも有効です(ただし, 不自然にならないように)。

TASK 1 思い出に残っている高校入学前の出来事について, 1分間でスピーチをしよう。

スピーチ原稿を書く

1分間のスピーチでは, 110~140語の文章を読むことができます。したがって, この語数を参考に原稿をつくるようにしましょう。

スピーチを始めるときは, まず「あいさつ」と「自己紹介」をします。クラスでのスピーチならHi, everyone. I'm Hana.のような短いものでよいでしょう。次に, スピーチのテーマや目的をI'd like to talk about / I'm going to talk aboutのように伝えてから, スピーチの内容へと入っていきます。

ここで, モデルとなるスピーチ原稿を見てみましょう。Logical Writing ①のモデルパラグラフをスピーチ原稿にしたものです。

Hi, friends. I'm Hana. Today, I would like to talk about my first day in Seattle. When I was fourteen years old, I went to the United States. I wanted to improve my English, so I decided to join an exchange program. About twenty students spent two weeks of their summer vacation living with families in Seattle. When we arrived at the school after a long journey, we were surprised to find that the host families and the teachers had organized a welcome party for us. It was fun. We did our best to introduce ourselves to our host families. After the party, we went to our new homes. I felt a little nervous. Fortunately, my host family was very kind, and I was able to spend a comfortable time with them. It was an unforgettable experience for me. (139 words)

スピーチで大切なこと

スピーチでは最初の「つかみ」が大切です。みんなが「聞いてみたい」と思うような内容でスピーチを始めましょう。Hanaのスピーチの場合は, my first day in Seattleだけで「シアトルに行ったんだ」「何をしに行ったんだろう」「どんなことがあったんだろう」と聞く人は思うでしょう。また, Have any of you been abroad?のように問いかけたり, 聞く人が興味をもちそうな事実でスピーチを始めるのも効果的です。シアトルという都市について話すのであれば, Seattle is the birthplace of the worldwide coffee chain.のような内容が考えられます。

スピーチをしてみよう!

では, Logical Writing ①で作成した叙述文をスピーチ用の原稿にして, 次の点に留意してグループ内で発表しましょう。

- 原稿を棒読みするのではなく, みんなのほうを見ながら話します。
- みんなにははっきりと聞こえるように, 声の大きさや話す速さにも気をつけます。
- 英語の発音や抑揚も意識して, 必要なところにはポーズを入れて聞きやすくします。
- その時の気持ちが伝わるような話し方をします(楽しかった場面は楽しそうに)。
- 最後はThank you. / Thank you for listening. でスピーチを終えます。
- 聞いている人は, スピーチが終わったら拍手をしましょう!

全員のスピーチが終わったら, **TASK 2** に挑戦してみましょう。

TASK 2 思い出に残っている高校入学後の出来事について, 1分間でスピーチをしよう。

何について話すか考える

STEP 1 まず, どの出来事について書くのかを考えます。いくつか思い出に残っている出来事をリストアップします。

アウトライン(あらすじ)を書く

STEP 2 読み手の興味を引くことができそうな出来事を選んで, 「導入」→「内容」→「感想」のアウトラインをつくります。

スピーチ原稿を書く

STEP 3 アウトラインができたらスピーチ用の原稿にします。最初の「つかみ」で聞く人の興味を引くことができるようにします。書き終わったら読み直して修正します。

発表する(スピーチ)

STEP 4 スピーチ原稿ができたら, ペアまたはグループになって発表します。発表した内容について聞き手が気をつけます。

スピーチへのフィードバック

スピーチが終わったら拍手をし, 次のチェックリストを使って気づきや感想を伝えましょう。また, 発表した内容に関して聞きたいことがあれば質問しましょう。

スピーチチェックリスト

- ☒ アイコンタクト・姿勢: みんなのほうを見て話していたか
- ☒ 声の大きさ・速さ・ポーズ: 聞きやすかったか
- ☒ 発音・抑揚: 棒読みになっていなかったか
- ☒ 構成: 「導入」→「内容」→「感想」の構成になっていたか
- ☒ 内容: 聞く人の興味を引くような内容でわかりやすかったか

話すTASKに無理なく取り組めるワークシートをご用意

話す活動が苦手な生徒も取り組みやすいように, アイデア出しのヒントを盛り込んだワークシートを「指導用データDVD-ROM」に収録。>>> p.25

Zone末活動用ワークシート

スピーチで大切なこと

- スピーチでは最初の「つかみ」が大切です。みんなが「聞いてみたい」と思うような内容でスピーチを始めましょう。Have any of you been abroad? のように問いかけたり, 聞く人が興味をもちそうな事実でスピーチを始めるのも効果的です。

1. 次のテーマで話すときに, どのような「つかみ」が考えられますか。それぞれ1~2文で書いてみましょう。

① 富士山に登ったことを話す場合

② ギターを習い始めたことを話す場合

生徒用教材の活用例

教室でも自宅でも手厚く学習をサポート

教科書準拠教材3種類

① Grammar Book >>> p.21

② Workbook >>> p.22

③ My English Portfolio >>> p.23

教科書準拠の
英文法テキスト

自己表現練習&
自己表現ストック帳

教科書 be Smart

教科書の学習項目を
使って表現力を強化

教科書を中心に文法と表現活動が連動して学べる

総合英語「be 5th Edition」シリーズとの併用で学習効率UP

参考書で文法を体系的に学び、表現力の基盤をつくる。

総合英語 be 5th Edition



教科書との対照表を指導用
データDVD-ROMに収録

デジタル教科書
で学習文法項目
を参照できる
>>> p.30

総合英語 be 準拠グラマー&ワークブック



文法解説+演習問題のグラ
マーテキストで知識を確認



ワークブックの豊富な
演習で文法を定着

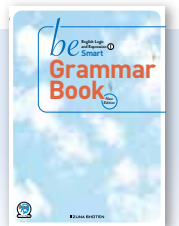
GRAMMAR PLUS / SUPPLEMENT

発展的な文法項目も網羅



Review Exercises

ランダム問題で文法理解を確認



教科書の学習項目をバランスよく学習し、文法力・表現力を強化。



- **Listening**: 教科書の Start-Up の音声を聞いて設問に答える。
- Vocabulary**: 教科書のトピックで頻出する語い・表現を学習。
- Writing**: 文法事項の確認から状況に応じた英作文まで、豊富な演習量で表現力を磨く。
- 本冊: 72ページ, 解答・解説書: 36ページ

本課 1レッスン2ページ構成

教科書と同じテーマの問題演習で、表現のバリエーションを増やすことができる。

教科書と連動しているので、各 Zone の復習が効果的に行える。

Zone REVIEW 文法事項をまとめて復習

NEW

学習した文法事項を発信につなげる自己表現練習 & 自己表現ストック帳。



- 3 Step で表現力を磨く！
- Step 1: 【文法の定着】教科書例文と類似した英作文で文法の理解・定着。
- Step 2: 【短文練習】学習文法項目を使って、自分のことばで英文をつくる。
- Step 3: 【英作文】論理構造をもった40～60語程度のパラグラフを書く。
- 本冊: 64ページ, 解答書: 28ページ

本課 1レッスン2ページ構成

例文 + α の項目も学習できる。

教科書例文を手がかりにオリジナルの1文が書けるように。

教科書のWRITEと連動。学習ノートとして使用できる。

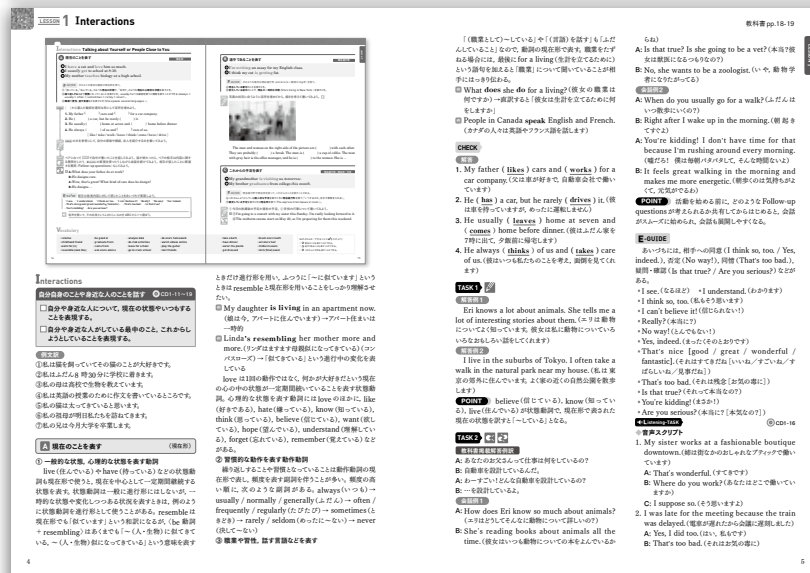
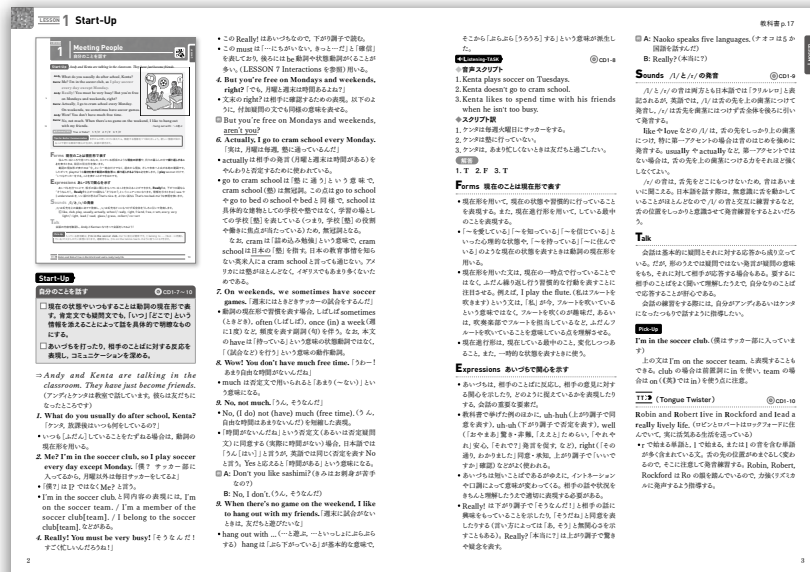
自己評価でモチベーションUP。

巻末に教科書例文と Vocabulary を日本語訳付きで掲載

解答書には、My Essay の解答例を複数掲載。

① 指導書本冊

- Start-Upのモデル会話は、1文ごとに英文解説、文法解説を掲載。
- TASK, SHARE, WRITE等の活動では、豊富な解答例を掲載。



② Teacher's Book (朱書本) >>> pp.28-29

- 解答、注意すべき点などを行間に掲載。
- 巻末にリスニングスクリプトや、TASK, SHARE, WRITE等の解答例をまとめて掲載。

③ 指導用データ DVD-ROM 活用例 >>> pp.26-27

- 授業プリントやテスト作成のための、さまざまなデータを収録。

項目名	データ名	ファイル形式
①教科書データ	(1)教科書本文データ	WORD
	(2)教科書和訳	WORD
	(3)教科書画像データ	JPG
	(4)生徒配布用解答	WORD
	(5)教科書リスニング問題音声	MP3
	(6)QRコードリンク先リスト	EXCEL
	(7)教科書紙面 PDF	PDF
	(8)参考書との対照表	EXCEL
②授業用ワークシート	(9)Warm-Up シート	WORD
	(10)Introduction 練習シート	WORD
	(11)ディクテーション・シート	WORD
	(12)Grammar 導入シート	WORD
	(13)基本例文暗唱シート	WORD
	(14)短文英作練習シート	WORD
	(15)CHECK-TASK ワークシート	WORD
	(16)Vocabulary 確認シート	WORD
	(17)SHARE ワークシート	WORD
	(18)WRITE ワークシート	WORD
	(19)Logical Writing ワークシート NEW	WORD
	(20)Zone 末活動ワークシート NEW	WORD
	(21)各課小テスト	WORD
	(22)評価問題	WORD
	(23)テスト用素材 NEW	JPG, PDF
	(24)パフォーマンステスト NEW	WORD
	(25) テストクリエイター	
③テスト用データ	(26)指導用パワーポイント	PowerPoint
	(27)指導用パワーポイントHTML版	HTML Document
④デジタル教科書	(28)デジタル教科書 NEW	
⑦指導書本冊 PDF 版	(29)指導書本冊 PDF 版 NEW	PDF
⑧シラバス等データ	(30)年間指導計画案	WORD, PDF
	(31)シラバスおよび評価規準	WORD, PDF
	(32)観点別評価規準例(ルーブリック)	WORD, PDF
	(33)採択理由書	WORD, PDF

※本ページに掲載されている仕様は2025年4月現在のものです、予告なしに変更になることがあります。

→ p.31
→ p.30

指導用データDVD-ROM 活用のイメージ

教科書の各パートの学習に適したワークシートをご用意しました。
授業準備にも授業中にもフル活用していただけます。

導入・リスニング

(11) ディクテーション・シート

Start-Upの英文と基本例文をディクテーションで導入

■ 音声聞いて、空所を埋めよう。

教科書 p.13 Start-Up (CD: 指導用 1-7 / 生徒用 1-2)

Andy: What () () usually () after school, Kenta?

Kenta: Me? I'm in the soccer club, so I () soccer every day except Monday.

Andy: ()! You must be very busy! But you're () () Mondays and weekends, right?

Kenta: Actually, I () () () () every Monday. On weekends, we sometimes () soccer games.

Andy: Wow! You don't () much free time.

Kenta: No, not much. When there's no () on the weekend, I like to () () () my friends.

■ 音声聞いて、空所を埋めてみよう。

教科書 pp.14-15 INTERACTIONS (CD: 指導用 1-10 / 生徒用 1-5)

A ① I () a cat and () him so much.

文法学習

(12) Grammar導入シート

文法のポイント解説と確認問題で理解を深める

LESSON 1 Grammar導入シート：現在形を使う

図 p.14~15

【文法ポイント】：現在のことは現在形で表す

I play soccer. I am waiting for the bus.

(いつもすること＝サッカーをしている) (～をしている最中＝バスを待っている)

現在形を使うと、住んでいるところ、入っている部活、趣味や特技など、現在の状態やいつもすることを表せる。また、今のことに對して「～をしている最中です」と言いたいときには、現在進行形を使う。

A 現在のことを表す

① I have a cat and love him very much.

(私は猫を飼っていてその猫のことが大好きです。【心理的な状態】)

② I usually get to school at 8:30.

(私はふだん 8 時 30 分に学校に着きます【習慣的な動作】) (私の母は高校で生物を教えています【職業や習性など】)

③ My mother teaches biology at a high school.

■ 動詞の現在形 心理的な状態や現在の状態、習慣的な動作や職業や習性、話す言語などを表す。

【Try!】日本語の意味に合うように、[] の動詞を適切な形にして、英文を完成させなさい。

1. She () my name. [know] (彼女は私の名前を知っている)

(13) 基本例文暗唱シート

基本例文と日本語訳を対照しながら暗唱できる

① I have a cat and love him so much.

① 私は猫を飼っていてその猫のことが大好きです。

② I usually get to school at 8:30.

② 私はふだん 8 時 30 分に学校に着きます。

③ My mother teaches biology at a high school.

③ 私の母は高校で生物を教えています。

④ I am writing an essay for my English class.

④ 私は英語の授業のために作文を書いているところです。

⑤ I think my cat is getting fat.

⑤ うちの猫は太ってきていると思います。

⑥ My grandmother is visiting us tomorrow.

⑥ 私の祖母が明日私たちを訪ねてきます。

授業を円滑にする デジタル教材も充実

(26) 指導用パワーポイント

Vocabularyをフラッシュカードで学習できる

▶▶▶ p.31

(28) デジタル教科書 NEW

音声再生、解答表示、フラッシュカード機能等

▶▶▶ p.30

活動 TASK のサポート

(15) CHECK-TASKワークシート

授業で、CHECKとTASKの活動をサポートする書き込み用シート

LESSON 1 Smart 1 教科書 p.14-15

CHECK/TASK Worksheet 氏名 _____ 年 組 番 _____

A CHECK [] から選んだ動詞を適切な形にして空所を埋めよう。

1. My father () cars and () for a car company.
2. He () a cat, but he rarely () it.
3. He usually () home at seven and () home before dinner.
4. He always () of us and () care of us.
[like / take / work / leave / think / come / have / drive]

TASK 1 [] CHECK の文を参考にして、自分の家族や親戚、友人を紹介する文を書いてみよう。

TASK 2 [] (完成) [] ペアになって TASK 1 で自分が書いたことを話してみよう。
▶まず、[] 内の語句を選び覚えて会話の完成させ、全文を書こう。
例 A: What (your father / do / does / at work)?
B: He designs cars.
A: Work, that's great! What (cars / does / kind of / he / design)?
B: He designs...
▶次に、上の会話の参考に、対話文を作成してみよう。完成したら、ペアで会話をしてみよう。

TASK 3 [] (確認問題) ①今日の授業後の予定、②学校の行事について書いてみよう。
例 ① I'm going to a concert with my sister this Sunday. I'm really looking forward to it.
② The midterms exams start on May 20, so I'm preparing for them this weekend.

Self-Check [] (できることに✓を入れよう)
[] A 現在の状態を表すことができる。
[] B 途中であることを表すことができる。

(16) Vocabulary確認シート

語彙の日本語訳と例文+確認の穴埋め問題

■ まず VOCABULARY の意味を確認して覚えよう。

wake up	起きる	I usually wake up at 7:00.
wash one's face	顔を洗う	I wash my face as soon as I get up.
take a shower	シャワーを浴びる	We take a shower after club activities.
brush one's teeth	歯を磨く	I brush my teeth after every meal.
set one's hair	(髪を) セットする	My brother takes a long time to set his hair.
have breakfast	朝食をとる	We have no time to have breakfast.
have[drink] coffee	コーヒーを飲む	I had coffee at a cafe.
get dressed	着替える	I get dressed and then have breakfast.
water the plants	植物に水をやる	My mother waters the plants every morning.
leave for school	学校に出かける	My sister has already left for school.
talk with friends	友だちと話す	I talk with friends after school.
use a computer	コンピューターを使う	You can use a computer in the multi-media room.
go to the		
go to class		

(4)兄は毎週金曜日、塾に行く。: My brother goes to () () every Friday.
(5)日本の学生は放課後に部活動をする。: Japanese students () () () after school.
(6)私は毎食後に歯を磨く。: I () () () after every meal.
(7)私は着替えて朝食を食べる。: I () () () and then have breakfast.
(8)マルチメディア室ではコンピューターを使うことができる。: You can () () () in the multi-media room.
(9)私の家族は一緒に夕食をとる。: My family () () () together.
(10)私は昨夜遅くまで起きてテレビゲームをしていた。: I stayed up late () () () last night.
(11)私の兄は髪をセットするのに長い時間をかける。: My brother takes a long time to () () ().
(12)父は料理が上手だ。: My father () () () cooking.
(13)私は放課後に友だちと話を。: I () () () after school.
(14)夕食後に宿題をするつもりだ。: I'll () () () after dinner.
(15)カフェでコーヒーを飲んだ。: I () () () at a cafe.
(16)私は起きるとすぐに顔を洗う。: I () () () as soon as I get up.
(17)あなたはギターが弾けますか? : Can you () () () ?
(18)私たちは部活動後にシャワーを浴びる。: We () () () after club

まとめの活動

(18) WRITEワークシート

アイデア出しのサポートから「書く」を支援

■ いつもの行動を書こう

Step 1 いつもの朝の行動を述べた文を読んで、[] から適語を選び、空所を埋めよう。

I () up at 7:00 in the morning. After I wash my face and get dressed, I always () a traditional Japanese breakfast with my family. I () home at 8:00 and get to school by 8:30. [have / leave / get]

Step 2 自分の毎朝の行動 (morning routine) や帰宅後の行動 (evening routine) を 40 語程度で書いてみよう。接続詞 and を使って、時間の流れにそって行動を説明しよう。

▶まず、毎朝の行動や帰宅後の行動を、時間の流れにそって書き出してみよう。

例 get home → wash my hands → do my homework → have dinner → take a bath → watch TV → go to bed

(17) SHAREワークシート

手順を示して「話す」活動サポート

■ 自己紹介をしよう

Step 1 自己紹介している次の文を読もう。

I'm Honda Kenta. I graduated from Higashi Junior High School. I like soccer very much. I'm on the school soccer team and we practice every day. I think I'm outgoing. I hope I can make a lot of friends here.

Step 2 上の例を参考に、自己紹介の文を考えて、メモにまとめよう。

▶自分の好きなことや性格、これからの目標などを入れてみよう。

Hello, everyone!

I'm _____.

I graduated from _____.

I like _____.

I think _____.

- ① 指導用音声 CD のトラックナンバーを紙面の左側に掲載。
- ② CHECK・TASK の指示文の英語訳をご用意。
- ③ 巻末にリスニング問題のスキプトや、TASK・WRITE の解答例を収録。

LESSON 1 Meeting People
自分のことを話す

Start-Up Andy and Kenta are talking in the classroom. They have just become friends.

Andy: What do you usually do after school, Kenta?
Kenta: Me? I'm in the soccer club, so I **play soccer every day except Monday**.
Andy: Really! You must be very busy! But you're free on Mondays and weekends, right?
Kenta: Actually, I go to cram school every Monday. On weekends, we sometimes have soccer games.
Andy: Wow! You don't have much free time.
Kenta: No, not much. When there's no game on the weekend with my friends.

Listening-TASK True or False? 1. ☐ F 2. ☐ T 3. ☐ F 4. ☐ F

Tips for Better Communication 相手からの問いかけに答えたら、関連する情報を1つ加えることで新たな興味や関心が生まれ、会話が続きます。

Forms 現在のことは現在形で表す
住んでいるところや持っているもの、入っている部活のような現在の状態や、日とを表すときは、動詞の現在形を使います。
動詞の現在形が表すのは「今」という時点だけでなく、過去から現在、そして将来、playのような動きを表す動詞の現在形は、繰り返すようなことを表す「いつもサッカーをする」ことを表すことができます。

Expressions あいづちで関心を示す
あいづちを打つことで、相手の話に関心をもっていることを伝えることができます。「そうなんだ!」、Really? と上がり口調なら「そうなの?」というニュアンスになります。I understand. を、いい話だと思えば That's nice. を、よくない話なら That's too bad. などを使い、相手の話に関心を示すことができます。

Sounds /l/ と /r/ の発音
/l/ は舌先を上歯茎にあてて発音し、/r/ は舌先をどこにもつけない舌全体で発音します。like, club, play, usually, actually, school / really, right, friend, from, light / right, lead / read, glass / grass, collect / correct

Talk
会話の内容を確認し、AndyとKentaにならなくて話をしてみよう!

Pick-Up 入っている部活は、I'm in the soccer club. のように言えば簡単です。I'm in the soccer club. と少し少しい表現になります。運動部なら、I'm on the tennis team. のように表現します。

TT Robin and Robert live in Rockford and lead a really lively life.

Interactions Talking about Yourself or People Close to You

A 現在のことを表す GOAL: Have the students write and then talk about themselves and the people close to them using the present tense.

① I **have** a cat and **love** him so much.
② I **usually get** to school at 8:30.
③ My mother **teaches** biology at a high school.

F-GUIDE 次のような場合は動詞の現在形を使う。
① 「持っている」「住んでいる」のような現在の状態や、「好きだ」のような現在の心理的な状態を表すとき。
② 繰り返すことや習慣になっていることを表すとき。usually のような副詞を使うと頻度を表すことができる (always > usually > often > sometimes > rarely > never)。
③ 職業や習性、話す言語などを表すとき (She speaks several languages.)。

CHECK Complete the sentences using the verbs in brackets and put them in the correct form.
[] から選んだ動詞を適切な形にして空所を埋めよう。

1. My father (**likes**) cars and (**works**) for a car company.
2. He (**has**) a car, but he rarely (**drives**) it.
3. He usually (**leaves**) home at seven and (**comes**) home before dinner.
4. He always (**thinks**) of us and (**takes**) care of us.

TASK 1 Write the sentences introducing yourself, your family, your relatives, or your friends, referring to the CHECK.
CHECK の文を参考にして、自分の家族や親戚、友人を紹介する文を書いてみよう。

TASK 2 Talk about what you wrote in TASK 1 in pairs. After the conversation, keep continuing the conversation by asking questions about the contents and using expressions from the F-GUIDE. In addition, try asking follow-up questions related to what the partner said.

TASK 2 ペアになって TASK 1 で自分が書いたことを話してみよう。話が終わったら、ペアの相手は内容に関する質問をしたり、F-GUIDE の表現を使ったりしながら会話を続けてみよう。相手が話したことに関連する質問 (Follow-up questions) もしてみよう。

A: What does your father do at work?
B: He designs cars.
A: Wow, that's great! What kind of cars does he design?
B: He designs ...

E-GUIDE 相手の発言内容に対して感じたことをあいづちで表現しよう。
・ I see. ・ I understand. ・ I think so, too. ・ I can't believe it! ・ Really? ・ No way! ・ Yes, indeed.
・ That's nice (good/great/wonderful/fantastic). ・ That's too bad. ・ Is that true?
・ You're kidding! ・ Are you serious?

音声 を聞いて、その内容と一致するものを ABC から1つ選ぼう。1A 2B 3A
→ 音声スキプトは巻末の B 付録 2

Vocabulary

・ relative
・ childhood friend
・ work for (in)
・ resemble (look like)
・ be good at
・ graduate from
・ come from
・ ask one's advice
・ analyze data
・ do club activities
・ leave for school
・ go to cram school
・ do one's homework
・ watch videos online
・ play the guitar
・ text friends

B 途中でであることを表す GOAL: Have the students briefly explain what the eight people in the picture are doing.

④ I'm **writing** an essay for my English class.
⑤ I think my cat **is getting** fat. (I think that my cat is ... の that の省略。I think my cat is fat. (現在の状態) との違いを確認)

F-GUIDE 次のような場合は現在進行形 (am/are/is + 動詞の ing 形) を使う。
④ 現在している最中のことを表すとき。[〜しているところだ]
⑤ 変化している途中のことや、現在の一時的な状態 (She's living in New York.) を表すとき。[〜しつつある] (変化している)

TASK Fill in the blanks to match the situation in the photo, and then, try to continue writing.
写真の状況に合うように空所を埋めてから、続きを考えて書いてみよう。



The man and woman on the right side of the picture are (**taking**) a break. They are probably (**drinking**) a break. The man is (**talking**) to the woman, and she is (**listening**) to him.

C これからの予定を表す GOAL: Have a conversation about what you do after school or on the weekends.

④ My grandmother **is visiting** us tomorrow.
⑤ My brother **graduates** from college this month.

F-GUIDE 現在進行形や現在形を使って、これからのことを表すことがある。
④ これからしようとしている個人的な予定を表すときは現在進行形を使う (「いつするの?」)
⑤ 確定している予定を表すときは現在形を使う (The express train leaves at noon)

TASK Write about your plans for after school, the weekend, or school events.
① 今日の放課後の予定か週末の予定、② 学校の行事について書いてみよう。

① I'm going to a concert with my sister this Sunday. I'm ready.
② The midterm exams start on May 20, so I'm preparing.

Self-Check (7ページ)
自分のことについて伝えることができた。□□□
相手が話したことに関する質問ができた。□□□
□: よくできた。□: まあまあできた。□: あまりできなかった。

Active Learning Introducing Yourself

SHARE 自己紹介をしよう

① 自己紹介をしている次の文を読もう。

I'm Honda Kenta. I graduated from Higashi Junior High School. I like soccer very much. I'm on the school soccer team and we practice every day. I think I'm outgoing. I hope I can make a lot of friends here.

② 上の例を参考に、自己紹介の文を考え、メモにまとめよう。

Name	I'm _____.
Your junior high school	I graduated from _____.
Your favorite things / character	_____.
Your goals in high school	I hope _____.

③ グループになって、順番に自己紹介をしよう。

・ Hello, everyone! で始め、Thank you for listening. Do you have any questions? で締めよう。
・ 聞き手は質問を1つしよう。
□ What position do you play? / Do you like any other sports?

Self-Check (7ページ)
自分のことについて伝えることができた。□□□
相手が話したことに関する質問ができた。□□□
□: よくできた。□: まあまあできた。□: あまりできなかった。

WRITE Write down your daily routine.
① Read the sentences below and fill in the blanks using appropriate words in the brackets.
② Write down your morning routine or evening routine in about 40 words.

WRITE 1 つの行動を書こう

① いつもの朝の行動を述べた文を読んで、[] から適語を選び、空所を埋めよう。

I usually (**get**) up at 7:00 in the morning. After I wash my face and get dressed, I always (**have**) a traditional Japanese breakfast with my family. I (**leave**) home at 8:00 and get to school by 8:30. [**have** / **leave** / **get**]

② 自分の毎朝の行動 (morning routine) や帰宅後の行動 (evening routine) を、40語程度で書いてみよう。Logical Thinking を参考にしよう。

Self-Check (7ページ)
いつもの行動について、40語程度で表現できた。□□□
時間の流れにそって、自分の行動を適切な動詞を使って書くことができた。□□□
□: よくできた。□: まあまあできた。□: あまりできなかった。

Logical Thinking

「毎朝の行動」や「帰宅後の行動」など、いつもの行動を伝えるときは、時間の流れにそって話したり書いたりします。短い文が続くときは、接続詞 and を使って文をつなぐと不要な繰り返しを省けます。I wash my face and get dressed. では and のあとに I を入れる必要はありません。

特色

- みらい学校のプラットフォームを採用(PC, タブレット, スマートフォン各種端末に対応)。
- フラッシュカード, 音読練習, 解答表示などの機能を収録。
- 授業で扱っている部分を拡大表示できて, 電子黒板風に使用可能。

対応: PC (Windows, Mac), タブレット (iPad, Android), Chromebook®, Surface, スマートフォン (iPhone, Android)

画面見本

●メイン画面

拡大・縮小・ペンツールを使った書き込みのほか, アイコンから音声再生, 解答表示などができます。

●参考書ポップアップ

アイコンからABC 各文法項目に該当する参考書ページが参照できます。

●解答・リスニング問題
スクリプト

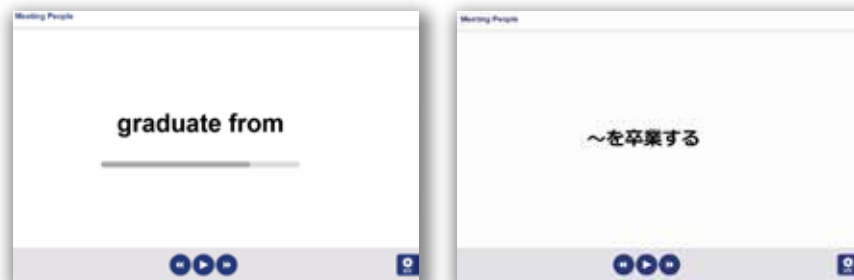
ポップアップ画面で表示されます。

●フラッシュカード

英語→日本語, 日本語→英語, 英語のみから選択できます。

●音読画面

音声の速さを選ぶことができます。



特色

- 教科書の本文再生, Vocabularyのフラッシュカードなどの機能を収録。
 - ご自身でスライドを追加・削除することが可能です。
 - Chromebook® ご使用校向けのHTML版もご用意しています。
- ※準拠教材 Grammar Book, 総合英語be準拠 English Grammarにも指導用パワーポイントをご用意。

画面見本

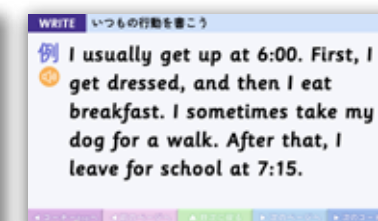
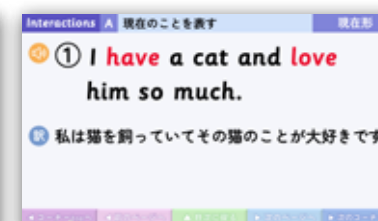
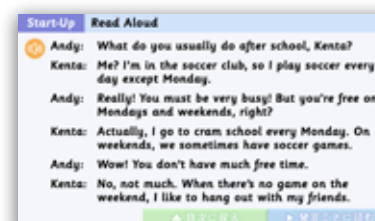
●各レッスンの収録内容

各レッスン1枚目の目次スライドから表示したい項目を選択できます。



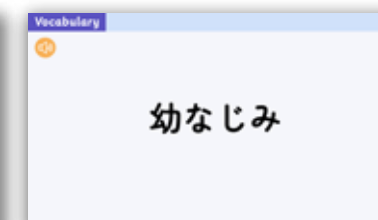
●音声再生

Start-Upのモデル英文, 基本例文, WRITE等の解答例の英文の音声を再生することができます。



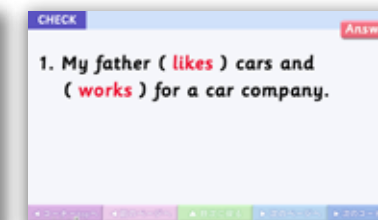
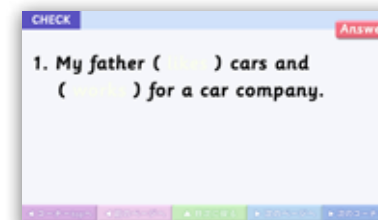
●フラッシュカード(音声付き)

Vocabularyを英語→日本語の順で表示します。



●解答(例)の表示

CHECKやTASKの解答(例)を表示します。



特色

- モデル会話や Vocabulary 等の音声再生時にテキストが表示されます。
- フラッシュカード、速度変更機能を追加しました。

画面見本

●目次
LESSON ごとに収録内容が表示されます。



●本文再生
テキストを見ながら音声を聞くことができます。



●フラッシュカード(音声付き)
英語→日本語の順で表示します。



教師用	指導用資料	■指導資料セット 定価:未定 収録内容①指導書本冊 ②Teacher's Book(朱書本) ③指導用データ DVD-ROM(指導用/パワーポイント・指導書本冊 PDF 版含む) ④指導者用デジタル教科書(③に収録) NEW
		■Teacher's Book(朱書本) 定価:未定 ※上記②の単体での販売となります。
	指導用音声 CD	■指導用音声 CD 8枚組 定価:未定 収録内容:各課 Start-Up / Sounds / 基本例文 / TASK / CHECK / SHARE / WRITE など ※指導用音声 CD をご購入いただくと、MP3 ファイルをダウンロードできます。
生徒用	デジタル教材	■学習者用デジタル教科書 定価:未定 収録内容:教科書紙面 / 再生サイトへのリンクボタン
	準拠教材	■Grammar Book(文法型) 定価:792円(本体720円) B5判 / 本冊136ページ+解答・解説書40ページ
		■Workbook(表現型) 定価:715円(本体650円) B5判 / 本冊72ページ+解答・解説書36ページ
		■My English Portfolio 定価:308円(本体280円) B5判 / 本冊64ページ+解答書28ページ

※本ページに掲載されている仕様および価格等は2025年4月現在のもので、予告なしに変更になることがあります。

●教科書音声収録リスト

収録音声	教科書 QR コード	指導者用 デジタル教科書	指導用 パワーポイント	指導用音声 CD
Start-Up 会話	●	●	●	●
リスニング問題	●	●	●	●
Sounds(発音)	●	●	●	●
基本例文	●	●	●	●
E-GUIDE	●	●	●	●
Vocabulary	●	●	●	●
CHECK 解答音声			●	●
TASK 解答例			●	●
SHARE・WRITE			●	●
CHECK・TASK 英語指示文				●
場面別会話(Keep Talking)	●	●※外部リンク		●
スピーチ・プレゼン等	●	●※外部リンク		●